

令和6年度日南町立認定こども園にちなん十色 園評価結果

1 園教育目標

「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」

- 自分の考えを持ち、遊びきる子ども
- 自分を好きになり、友だちも大切にできる子ども
- 地域に触れ、地域に親しみ自分を表現する子ども

2 本年度の重点目標と手立て

- 自己決定…自己選択や自己決定できる環境を準備し、遊び込むことで自己理解につなげる。
子ども主体の保育 ねらいに応じた選択制の保育 STEAMS 教育(実体験から自分なりの考えを持つ)
- 異年齢遊び…楽しさを共有できる仲間と思いを伝え合ったり、折り合いをつけることで、学びの基礎に繋げる。
個性を育む活動 かかわりを大切にしたい保育 チーム保育(多様性)
- 地域に親しむ…地域の知恵や文化、考え方に触れ、日南町の豊かな自然で、五感を使って思いっきり遊ぶ。
農業体験・菜園活動 CS 活動 絵本の読み聞かせ・素話 異文化に触れる活動(英語)

3 今年度の振り返り

評価項目	理由
学び続ける力	・行事の場面等、自分で選んで自分の得意なことを表現することが、自己表現する経験へとつながった。また、友達を知り、友達を助けてあげる姿にもつながった。(役立ち感) ・様々な体験の中で「なんで」「どうして」「ぼくはこう思う」という自分なりの考えを語る姿が増えている。
かかわりあう力	・異年齢で生活したり遊んだりする中で、自分の興味の合う仲間と遊びを繰り返すことで、遊びを発展させたり、友達の意見を受け入れて遊んだりする姿がある。 ・職員同士もチーム保育の中で、自分の思いを語ったり、相手の考えを受け入れたりする力が身に付き、園児への見本となっている。
ふるさとを愛する心	・菜園活動、運動遊びなど繰り返し地域の方と触れ合うことで、成長を感じ取ってもらいことができ、認めてもらったり励ましてもらうことで自信につながった。 ・8月から毎月、CIRと交流を行うことで、楽しみながら外国語や異文化に触れることができた。

4 来年度に向けての改善策

非認知能力の育成

- 学び続ける力…まずはなんでもやってみようとして自己決定する子の育成(自己決定)
 - ・子ども主体、見守る保育の意義を熟議し、理解を深めながら関わっていく
 - ・ねらいに応じた選択制の保育
 - ・STEAMS 教育の中で「やってみよう」を育む
- かかわり続ける力…やってみて楽しかったこと、発見を自分の言葉で伝える子の育成(異年齢遊び)
 - ・異年齢児保育(個別最適な支援)
 - ・かかわりを大切にしたい保育、人権保育への取り組み
 - ・大人のチーム保育をより一層充実させ、子どものかかわりを支援できる力につなげる
- ふるさとを愛する心…多様な人、物との出会いから自尊感情を育む(地域に親しむ)
 - ・農業体験・CS 活動で繰り返し地域の方と交流する
 - ・絵本の読み聞かせ・素話の効果を理解し取り組む
 - ・異文化に触れる活動(英語教育)

やさしい言葉でつながろう

日南小学校だより

令和7年3月3日発行

No. 13

【日南町立日南小学校】

TEL (0859)77-1200

FAX (0859)77-1201



←日南小HP
ご家庭の話題
にHPをご活
用ください。

学校評価アンケート結果から

2学期末の12月、保護者の皆さんに学校評価アンケートに回答していただきました。年末のお忙しい時に回答いただき、ありがとうございました

アンケートの内容は、日頃、学校の教育活動で重点として取り組んでいること、児童の実態として明らかにしたいことなどを5つの取組に分けて43の質問を設定しました。肯定的回答（とてもそう思う・そう思う）の割合が80%未満の質問に着目してみると、本校児童、あるいは児童を取り巻く環境や取組に課題があると思われる事項が明確に見えてきました。本号では、その特徴的な項目について紹介します。

1. 学校の取組と保護者の連携について	【肯定的回答 単位:%】	R6 後期	R6 前期	R5 後期
学校は、「ふるさと学習」（ふるさとを好きになる学習）を推進している。		96	95	90
学校は、園小中一貫教育を推進している。		58	64	54

園小中一貫教育についての項目は低下しています。園小中一貫教育の理念や取り組みについて周知する必要があると感じました。園小中一貫教育の目標を「生き抜く力」を育成することと設定しています。その実現に向け、こども園、小学校、中学校がそれぞれの段階に応じて、「学び続ける力」「かわり合う力」「ふるさとを愛する心」を育成する取り組みを行っています。特に、「ふるさとを愛する心」については、園小中でふるさとのよさを知り、たとえ将来日南町を離れたとしても、このふるさとを愛し、自分が育ったこの地に、自分なりの貢献ができる子どもを育てていくために、園小中の教職員もつながり、思いを同じにして取り組んでいきたいと思えます。今後、機会をとらえて、園小中一貫教育についてお知らせしていきたいと思えます。

2. お子さんの学校生活や授業について	R6 後期	R6 前期	R5 後期
お子さんは、学校が楽しいと言っている。	92	93	88
お子さんは、自分の考えを発表することは好きだ。	66	64	62
お子さんにとって、授業は分かりやすく工夫されている。	68	81	80
お子さんは、先生や友だちの話を最後まで聞いている。	68	72	84

3. 豊かな心について	R6 後期	R6 前期	R5 後期
お子さんは、楽しく話したり遊んだりする友だちがいる。	98	94	98
お子さんは、他人を思いやり親切にすることができる。	96	100	92
お子さんは、集団生活に必要な約束やルールを守っている。	90	92	88
お子さんは、周りに流されず自分が正しいと思った行動ができている。	68	72	72
お子さんは、ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある。	94	92	94
お子さんは、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。	72	55	58

子どもたちは、友だちに囲まれ楽しく学校生活を送っています。また、ものごとを最後までやりとげてうれしかった経験をしています。その中で、ルールを守って生活したり、互いに親切にしたり支え合ったりしています。反面、「自分の考えを発表することが好きだ」「先生や友だちの話を最後まで聞いている」「難しいことでも失敗をおそれず挑戦している」の問いへの肯定的回答は約7割となっています。間違ふこと、失敗することに対して不安になる傾向があると思われます。学校は安心して間違ふことのできる場所です。学校、家庭、そして地域でもプラス思考の声かけとそっ

握し、適切な支援を行いわかる授業づくりにも取り組んでいきたいと思ひます。

4. 家庭での生活について	R6 後期	R6 前期	R5 後期
お子さんは、自分から進んで勉強している。	50	57	64
お子さんは、家庭でも計画的に学習している。	46	43	52
お子さんは、忘れ物をほとんどしない。	48	45	50
お子さんは、朝食を食べて登校している。	94	100	98
お子さんと、メディア（ゲーム、テレビ、スマホなど）について家庭で約束を決めている。	78	76	
お子さんの生活リズムが、身につくよう工夫している。	78	85	80
家庭では、お子さんがする仕事（お手伝い）を決めている。	52	55	52
お子さんは、家庭で自分の気持ちや思ひを伝えることができている。	94	91	
私は、子どもとコミュニケーションがとれていると思う。	88	85	80

ほとんどの家庭の子どもたちが毎朝朝ご飯を食べており、子どもの生活リズムを大切にする家庭は約8割を維持しています。子どもたちが、「自分から進んで勉強している」、「家庭でも計画的に学習している」「忘れ物をほとんどしない」「家庭では、お子さんがする仕事（お手伝い）を決めている」では約5割の肯定的な回答となっています。学習の準備は落ち着いて学習に取り組むために大切なことですし、家庭学習は主体的に学ぶ力の向上など、学力向上を支える基盤づくりとしてたいへん重要です。家庭学習の習慣は、保護者や教員の声かけや関わりが大きな役割を担っています。学習習慣の定着に向けて学校と家庭が手を携えて取り組んでいきましょう。また、家庭でのコミュニケーションにかかわる問ひに対しては約9割の肯定的な回答となっています。学校でも、子どもたち一人一人とのかかわりを大切にしていきたいと思ひます。

5. 地域での生活について	R6 後期	R6 前期	R5 後期
お子さんは、地域の中であいさつをしている。	74	77	78
お子さんは、地域の行事に参加している。	76	85	76
親子で、地域の行事に参加している。	70	79	74
私は、子どもが日南町のこと（自然、文化、産業、人）を色々知るのはいいことだと思う。	100	98	96

あいさつ、地域の行事への参加については7割程度になっています。日南町では、毎月11日をハローデーとしています。明るく元気な挨拶が響き合う日南町にしていくために、私たち大人があいさつの手本を見せていきましょう。また、コロナ禍を過ぎ、様々なイベントが開催されています。地域の行事に参加していろいろな方とかかわることで、地域への愛着や子どもたちの社会性は育まれていきます。また、学校や家庭では、得られない体験もできると思われまひす。

上達！スキー教室

2月4日（火）に、4・5・6年生のスキー教室を行いました。指導ボランティアとして、保護者の方、地域の方に大変お世話になりました。けがなく安全に滑れるよう教えていただき、子どもたちはみるみる上達していきまひました。指導ボランティアの皆様、子どもたちに達成感を味わわせていただき、ありがとうございました。



- 5日（水）安全点検
6日（木）SCカウンセリング
7日（金）6年生を送る会
13日（木）朝の読み聞かせ・SCカウンセリング・個人懇談・下校12:20
14日（金）個人懇談・スイートピー贈呈式
下校12:20・PTA理事会
17日（月）下校14:50
18日（火）卒業式予行練習・前日準備
1・2・3・4・6年生下校14:50
5年生下校16:25
19日（水）卒業証書授与式・下校12:20
20日（木）●春分の日
21日（金）下校14:50
24日（月）修了式・離任式・下校12:20

3月の予定

令和6年度 日南中学校 学校評価アンケート(12月)分析結果(教職員・保護者)

I. 生活面について

- ・保護者の約70%、教職員は100%が、生徒は学校生活を楽しく過ごしていると肯定的な回答をしている。保護者については、1学期に比べて約21%低い結果となっている。保護者と教職員との間で、受け止め方にかなり乖離が見られるので、もう少し丁寧な見取りが必要である。
- ・家庭での歯磨きは、約94%出来ていると回答をしているが、学校での給食後の歯磨きは、約57%の生徒しか取り組めていない現状がある。学校歯科医の講演会やその後の呼びかけ等は毎年行っているが、歯磨きへの意識が低いようである。更に、保健委員会等と連携した呼びかけや取り組みを行っていくことが必要である。
- ・公的な場で適切な言動がとれているかには、保護者は約94%、教職員は100%が肯定的な回答をしており、公私の区別をつけた言動がとれるようになってきている。今後は更に、公的な場での適切な言動等について事ある毎に話をしていくことが必要である。
- ・メディアの使い方については、教職員では約43%、保護者では約56%が課題意識をもっておられるので、学校と家庭が連携をして正しい使い方について指導していくことが必要である。家庭でのルール決め等の呼びかけも行っていく。
- ・周りに流されることなく自分が正しいと思った言動をとることができることについては、保護者は約69%、教職員は約43%が肯定的な回答をしており、特に、教職員は1学期に比べると約24%も低くなっている。両者とも課題意識があり、自分自身の考えや気持ちなどをしっかりと持つことの大切さを伝えるとともに、善悪の判断と勇気をもった行動がとれるように指導していくことが必要である。
- ・困りごとや悩み事を相談できる友だちがいるかは、保護者は79%、教職員は約67%が肯定的な回答をしているが、普段から関わり合う力の育成や相談にのれるような関係づくりに取り組む必要がある。
- ・委員会や係では、自分の仕事に責任を持ってやりきっているという肯定的な回答をした教職員は約89%で、昨年度より11%低くなっている。また、掃除への取り組みには多少課題もみられ、丁寧な清掃指導が必要である。
- ・悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言をしていると肯定的な回答をした教職員は約86%と1学期より約19%上がったものの、保護者の肯定的な回答は約63%と1学期より約17%低くなっている。また、生徒のことをよく見てくれているかという質問に対しても、保護者の肯定的な回答は約75%で、生徒のことをよく理解し適切な対応に心がける必要がある。
- ・先生方は、生徒のよいところを認めたり、ほめたりしているという肯定的な回答をした保護者は約75%、教職員は100%とかなり差が見られる。また、お子さんのよいところを認めたり、ほめたりしている保護者は約81%おられるが、1学期と比べると約14%も低くなっている。また、本校は自尊感情や自己肯定感が低い生徒も多く、家庭とも協力をしながら、ほめたりよいところを認めたりすることで成功体験を積み重ね、自尊感情や自己肯定感を高めていく必要がある。
- ・お子さんと学校であったことをよく話すと肯定的な回答をされた保護者は約88%、お子さんの学校のことにについてよく相談にのっていると肯定的な回答をされた保護者は約88%と、家庭での親子のコミュニケーションもある程度良好である。また、悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり、助言したりしていると肯定的に回答した教職員も約86%おり、今後も生徒に寄り添った対応に心がけていきたい。

II. 学び続ける力について

- ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をする、人の話を注意して聞く等の学習規律は、約90%近くの生徒ができています。また、授業中に進んで学習に取り組んでいると肯定的な回答をした教職員は約86%と1学期に比べて約19%高くなったものの、保護者は約44%と約9%低く、更に家庭学習への意欲も含め非認知能力を高めていく必要がある。
- ・計画的な家庭学習には、保護者も教職員も課題意識があり、家庭と連携した取り組みや家庭学習計画表などの更なる活用や工夫が必要である。

- ・生徒が分かる授業づくりや勉強の仕方のアドバイスをしているかは、保護者の約56%、教職員の約71%が肯定的な回答をしており、さらに教材研究や分かる授業づくり等に努めていくとともに、学ぶ楽しさ(新たな事が分かった、できたなど)を実感させていくことが必要である。
- ・お子さん(生徒)は、目標に向け、自分の学力を伸ばそうと自ら努力を続けていると肯定的な回答をした保護者は約44%、教職員は約43%と両者とも低くなっている。また、勉強や部活など、難しいことも最後まであきらめず取り組もうとしていると肯定的な回答をした保護者は約75%、教職員は約57%と、保護者は昨年度より約10%、教職員は約30%近く高くなっている。学校と家庭とが同じ方向を向き、正しく情報共有を行い、それぞれの目標を意識した取り組みを進めていく必要がある。

Ⅲ. 関わり合う力について

- ・家庭でのあいさつは、約94%の保護者が肯定的な回答をしており、学校でのあいさつは約86%の教職員が肯定的な回答をしているが、校外で地域の人と自分からあいさつが出来ていると肯定的な回答をした保護者は約56%と、昨年度とほとんど変わらない結果であった。地域(コミュニティ・スクール)とも連携して、あいさつの大切さを伝えていく必要がある。
- ・授業中ペアや班の話し合いで、進んで自分の考えを言っているかは、約71%の教職員が肯定的な回答をしている。また、学校生活で自分の気持ちや意見を相手に伝えることができるまでは、肯定的な回答をした教職員は約71%で、安心して思いが伝え合える人間関係づくりや学級づくり等、関わり合う力の育成に今後も取り組む必要がある。
- ・周りの人を気遣った声かけや、人が困っていたり、悩んでいるときに進んで声かけをするなど、思いやりのある行動がとれるかでは、保護者は約62%、教職員は約86%が肯定的な回答をしており、1学期に比べて保護者は約30%近く低くなり、教職員は約30%高くなっている。今後も、人権教育を基盤とした人間関係づくりの充実や人権教育参観日での発信等に取り組む必要がある。
- ・学校生活で友だちと関わり合い、高め合うことができているという肯定的な回答をした保護者は約69%で、チームで進んで協力して取り組んでいるという肯定的な回答をした教職員は約72%と、両者とも1学期に比べ約15%前後低くなっている。学校行事で培った力を生活の中で生かし、自分たちで問題を解決するなど、自治力を高めていく必要がある。
- ・部活動では、部員と公平に協力して準備や片付け等を行ったり、部活の目標に向けて、アドバイスし合っの取り組みが弱いようである。今後は、ミーティングなどを大切に、部やチームとしての目標や一人ひとりの個人目標をしっかりと立て、目標を意識した活動ができるようにしたい。

Ⅳ. ふるさとを愛する心について

- ・地域の行事や活動に進んで参加しているかは、保護者の肯定的な回答は約81%で、昨年度よりは約10%高くなっているが、教職員の働きかけは約57%と昨年度より約10%近く低くなっている。学校としても積極的な参加を促す声かけや情報発信等を行い、ふるさとを愛する心の育成に努めていく必要がある。
- ・日南の良さをもっと知ってほしいと思うについては、保護者は約63%、教職員は100%が肯定的な回答をしており、保護者は1学期に比べて約17%低くなっている。家庭で日南の未来について話をしているという肯定的な回答をしている保護者は約38%、日南の未来について考えさせることがあったと肯定的な回答をした教職員は約43%と低く、様々な場面で日南の良さや未来について考えさせる時間(日南学など)の充実を図ることが必要である。

Ⅴ. 学校の取組・連携について

- ・学校目標や身につけてほしい力など分かりやすく伝えているかは、肯定的な回答をした教職員は約86%であったが、保護者には約50%しか伝わっていない現状があり、日頃から生徒たちへ伝えるように心がける必要がある。
- ・生徒や親の願い、思いを聞こうと心がけ、丁寧に対応していると肯定的に回答した教職員は100%であったが、保護者の約81%と少し差が見られる。生徒・保護者に寄り添った対応や信頼関係づくりに努めていく必要がある。

ある。

- ・学校だより、ホームページ、電話、家庭訪問等を通して学校の様子を伝えていると肯定的に回答した教職員は100%で、保護者が約88%と多少差が見られる。今後、さらに情報発信に努めていく必要がある。
- ・学校や町の便りなどを通してコミュニティ・スクールの目的や活動を理解していると肯定的に回答した教職員は約71%、保護者は約56%で、昨年度と比べて教職員はかなり高くなっているが、保護者はかなり低くなっている。CS サポーターを活用した取り組み等を更に進め、情報発信していく必要がある。
- ・学校からの便りや配布物等に目を通したり、参観日や学校行事などで学校に来られている保護者は約90%以上おられ、多くの保護者が学校やお子さんの教育に関心を持たれている。また、お子さんのことで心配なことや分からないことがあれば担任等に連絡をされている保護者は約94%と、昨年度より高くなっているが、引き続き、保護者との信頼関係づくりに努めていく必要がある。

VII. その他、学校へのご意見ご要望について(回答)

- ・特にありません。10名
- ・いつもありがとうございます。毎日学校に、楽しく行けて感謝しています。
- ・生徒に寄り添った対応をしてくださっているおかげで、本人も前向きに、目標に向けて取り組んでいます。
- ・相談内容に対して、工夫して下さりありがたいと思う。
- ・教室に入れないのですが、リモート授業も音声聞こえない時や、黒板が遠くて見えにくいなどがあり、学習意欲が更に下がっています。教育委員会で、予算を取ってほしい。別室登校の子どもは必ず一定数出ると思うので、リモート授業でも勉強がしっかり出来る対応策を取ってほしい。
 - 現在も病気や家庭の都合等で欠席した生徒の中には、リモート授業を受けている生徒はいますので、教育委員会とも連携を図りながら、出来る限り授業の受けやすい環境を整えていきたいと思っています。
- ・今後、部活動がどんな形で移行するのかを知りたいです。
 - 来年度は、現在の部活名は残したままで、陸上部とソフトテニス部を地域展開(学校と地域とが連携をして活動を行っていく)に移行していきます。その後も、教育委員会と協議を行いながら、出来る限り全ての部活動を地域展開にしていく予定です。
- ・親子で参加できる行事が欲しいと思います。
 - 生徒、保護者、教職員の意見を聞きながら、負担のない形で実施できたらと思います。

生徒アンケートの分析（日南中学校）

以下、2月保護者向け学校便りを加筆修正しています。校内では学年事に年度内の比較も分析しています。

「日南中が目指す3つの力」

日南中では3つの力の育成を目指しています。生徒アンケート結果を昨年度と比較し、見えてくることをとくに良い点、課題点で分析します。（数字は生徒の肯定的評価、+-は昨年度との比較）

教育活動や方針等はホームページや通信等で発信していきます。

1, 生活全般について

- ・学校生活を楽しく過ごせている。86.7%（+1.7）
- ・そうじでは、自分の役割に責任をもって最後までやりきった。75.6%（-4.4）
- ・委員会や係では、自分の仕事を、責任を持ってやりきった。84.4%（+1.4）
- ・メディア（ケータイ、スマホ、ゲームなど）は家庭で約束を決めて時間をコントロールできている。60%（+8）
- ・先生は、悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言したりしてくれる。71.1%(+25)
- ・親は、学校のこと（学習・進路、生活・友達）についてよく相談にのってくれる。73.3%（+19）
- ・私は周りに流されることなく自分が正しいと思った言動がとれている。57.8%（-5）

8割以上の生徒が、学校生活を楽しく、委員会の仕事など充実して取り組んでいます。大人に相談する生徒も大幅に増えており、信頼関係のよい表れだと思います。メディアコントロールも数字が上がっていますが、まだ課題であります。

自分が正しいと思った言動がとれる人間関係づくりもこれからの課題なのでクラスや縦割り活動の話し合い（言いたいことが言える）を実践していきます。

1, 学び続ける力

- ・始まりのチャイムが鳴るまでに席に着くことができた。91.1%（+6）
- ・人の話を注意して聞くことができた。77.8%(-9.2)
- ・クラス（集団）の中で、全体への指示や話を聞き取ることができた。82.2%(+2)
- ・宿題・予習・復習・テスト勉強など、計画的に家庭学習に取り組んでいる。53.3%（-5.7）
- ・授業の「めあて」と「流れ」が分かって（見通しを持って）学習に取り組めた。60%（-5）

人の話は誰であっても傾聴することを心がけさせたいと思います。8割以上の生徒が授業に集中して取り組んでおり、クラスの学ぶ雰囲気も良くなっています。今年度宿題一覧表と放課後学習を結びつける工夫もしてきましたが、普段（がんばりウィーク以外の時も）から家庭の勉強時間を確保できるようにメディアコントロールすること、家庭のルールづくり等働きかけ、協力していききたいと思います。

授業のめあてと流れの提示は、生徒が受け身にならず主体的に動ける第一歩なので、どの授業でも徹底していききたいと思います。

2. 関わり合う力

- ・朝、自分から友達や先生にあいさつ（おはよう）をしている。71.1%(-4.9)
- ・私は、地域の方（近所、バスの運転手、交通安全の人など）に自分からあいさつをしている。75.6%(-4.4)
- ・人が困ったり、悩んだりしている時、進んで声をかけるなど思いやった行動ができている。60% (+10)
- ・私は、部活の目標に向けて、アドバイスし合っている。55.6%(+14)

あいさつは昨年に比べ下がりました。毎月11日のハローデーなど、生徒会や地域と共に取り組んでいきたいと思います。思いやりの行動やアドバイスのし合いは良くなってきています。更に自分からSOSを出したり、声を掛け合ったりできる仲間づくりをクラスや部活、学校全体でも、教職員と一緒に作っていききたいと思います。

3. ふるさとを愛する心

- ・ふるさと日南には良いところがあると思う。73.3%(+38)
- ・私は、自分の将来や夢について考えることがあった。71.1% (+8)
- ・自分には良いところがあると思う。57.8% (+23)
- ・私は、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。53% (+14)

この項目は、今年度大きく伸びました。ふるさとキャリア教育の日南学が地域の方々の協力の下、生徒の学びになってきていることや、地域の人と対話する活動が充実してきたことが効果として出てきています。今後も地域行事やボランティア活動など学校へ届いた情報は生徒に積極的に伝えます。そして、地域・家庭でも生徒の良さや可能性はタイミングを逃さず、伝えて頂きたいと思います。